

一般社団法人日本人間工学会第 37 回理事会 議事録

1. 開催日：平成 29 年 2 月 22 日（水） 15：00～17：27

2. 開催場所：芝浦工業大学芝浦キャンパス 8 階 803

3. 出席理事：

<敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事)：堀江良典(理事長)，榎原毅(副理事長，改革・戦略)，青木和夫(表彰)，赤松幹之(編集)，大内啓子(財務)，岡田明(企画)，小谷賢太郎(国際，第 58 回大会・ACED2017)，斉藤進(子供の ICT 活用)，申紅仙，鳥居塚崇(第 58 回大会・ACED2017)，中西美和(総務)，福住伸一(人間工学専門家認定機構長)，藤田祐志(IEA)，松田文子(広報)，三宅晋司(財務)，横井孝志(ISO/TC159)，横山清子(学術)，吉村健志 [18 名]

(理事兼支部長)：三林洋介(関東)，臼井伸之介(関西)，村田厚生(中国・四国)，和田親宗(九州・沖縄) [4 名] [計：22 名]

(欠席者)：阿久津正大，河合隆史，横山真太郎(北海道)，大橋智樹(東北，総務)，斎藤真(東海)

・監事：酒井一博

・オブザーバー：石橋基範(倫理指針)，大須賀美恵子，平沢尚毅(北海道)，吉武良治

・事務局：栗田紀子，西原彩，米倉裕美

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 22 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後，定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

村田厚生理事兼支部長，石橋基範オブザーバー，大須賀美恵子オブザーバー，平沢尚毅オブザーバーは，他の理事会参加者と意見交換が可能なネット会議システムによる出席であった。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2018 年の第 59 回大会開催地について

堀江理事長より，第 59 回大会について，慣例では地方支部開催となるが，開催の間隔があいているのは東北支部，中国・四国支部である。開催候補者と連絡を取り相談の上，開催を決定したい旨説明があり，承認された。村田中国・四国支部長より，理事長より依頼があれば支部内で検討の上，開催を前向きに検討したい旨説明があった。

(2) 第 2 号議案 人間工学誌掲載論文の二重投稿について

横山学術担当より，編集委員会より指摘があり，人間工学誌掲載論文の二重投稿について学術担当で確認した経緯と詳細の説明があり，調査内容について確認の上対応について審議した結果，本件は二重投稿という不適切な行為であり，調査結果を学会誌において会告し，当該論文の削除手続きを行うことを承認した。著者全員へその旨の見解書(不服申し立て可)を送付することを確認した。

ACED2017 に投稿した内容はその後人間工学誌へ投稿できるか否か議論となり，大会講演集などを含め，短報に準ずることとし，発表(引用)したことを論文内で明記することが必須であることを確認した。

(3) 第 3 号議案 優秀研究発表奨励賞選考規程の改定及び同細則の廃止について

青木表彰委員長より，第 3 条(受賞資格)，第 6 条(評価)の変更とこれまで細則だった内容を規程内に取り入れ細則を廃止した改定案が提案され，原案の通り承認された。

(4) 第 4 号議案 功労賞候補者について

青木表彰委員長より，功労賞候補として大久保堯夫氏と福田康明氏が推薦され，承認された。平成 29 年定時社員総会で表彰する。堀江理事長より，名誉会員推薦細則を説明の上，推薦者を募った。

(5) 第 5 号議案 IEA フェロー申請について

小谷国際委員長より，青木和夫前理事長を IEA フェローアワード候補者とし JES から推薦したい旨説明があり，承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第36回理事会議事録

中西総務理事より、メール審議を経て第36回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告(1月末)

平成29年1月末現在、会員数1,534名、賛助会員28社29口。

(1-3) 複数年会費未納者について

4年以上会費未納入の会員(31人)は会員資格を喪失する。堀江理事長より、ご存知の方がいれば声を掛けてほしい旨お願いがあった。

(1-4) メールによる審議および報告事項の結果について

中西総務理事より、メール審議事項1件(第36回理事会議事録)の報告があった。

(2) 財務報告

三宅財務理事より、平成29年1月度収支決算の報告があった。

(3) 第58回大会準備状況

小谷ACED大会長より、現在13カ国、120演題、6シンポジウムの申し込みがあったことおよび演題申し込みの延長中である等、準備状況の報告があった。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 広報委員会

松田委員長より、GP賞に関する投票サイトの開設、SNS戦略としてFacebookページの開設準備をしている旨報告があった。

(4-2) 編集委員会

赤松委員長より、学会誌「人間工学」の発行状況と次号の進捗状況、論文投稿数の推移と採択率について報告があった。2月号は掲載論文が2編と少なく、論文投稿をうながしてほしい旨お願いがあった。

(4-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、ACED2017の準備状況については報告事項(3)第58回大会準備状況にて報告済みのため特になし。

(4-4) ISO/TC159国内対策委員会

横井委員長より、ISO/TC159総会が2017年は日本開催(12月AISTお台場)であること、JIS原案作成準備状況等について報告があった。

(4-5) 企画担当

岡田企画担当理事より、全国大会での学会企画について、学会とACED2017との共催企画、学生・若手向けの教育講演シリーズについて準備状況の報告があった。また、研究部会規程に研究成果発表に関する条文の追加改定を検討中である旨報告があった。

(4-6) 人間工学専門家認定機構

福住機構長より、支部大会へのPR活動や国際会議への参加、会報の発行について報告があった。

(4-7) 学会改革・戦略委員会

榎原委員長より、委員会内で検討してきた戦略(アクションプラン)5件について資料を基に説明があった。理事会の確認が取れば、この方向性で戦略を詰めていき、次回理事会にて具体的な案を提出するので、意見・アイデア等があれば榎原委員長宛に連絡することとなった。

(4-8) 倫理指針検討委員会

石橋委員長より、「人間工学研究のための倫理に関する意識調査」をインターネットアンケートにて実施予定であり、その準備状況について報告があった。ヒューマンインタフェース学会を参考にしているため、先方の学会の許可が取れていること、参考にした旨を明記することを確認した。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

平沢副支部長より、支部活動について報告があった。

(5-2) 東北支部

中西総務理事より、支部研究会を2月25日に東北大学で開催する旨、報告があった。

(5-3) 関東支部

三林支部長より、関東支部第46回大会を2016年12月3日、4日に開催し、一般発表42件、卒業研究発表48件、大会参加者数187名との報告があった。また、講演集に誤植があり、再印刷の上参加者へ送付した旨お詫びと報告があった。

(5-4) 東海支部

横山副支部長より、2016年度支部大会を2016年10月15日に名古屋市立大学にて横山清子大会長のもと開催し、学会誌に報告記事を掲載したことの報告があった。また第57回JES大会の収支報告があり、寄付金として400,493円をJESへ渡す旨報告があり、堀江理事長よりお礼があった。第57回JES大会参加者人数の内訳については、次回理事会にて報告予定。

(5-5) 関西支部

臼井支部長より、2016年度支部大会を2016年12月10日に近畿大学にて開催し、発表40件、参加者77人との報告があった。今後の予定として3月25日に支部総会と講演会を開催すること、および2017年度支部大会を12月19日に開催予定である旨、報告があった。

(5-6) 中国・四国支部

村田支部長より、2016年度支部大会を2016年12月10日に香川大学にて開催し、一般発表36件と特別講演、参加者70人との報告があった。今年は第50回の支部大会なので記念となる企画を計画している旨、説明があった。開催場所は山口県の予定。

(5-7) 九州・沖縄支部

和田支部長より、2016年度支部大会を2016年10月16日、17日に唐津にて開催し、講演発表16件とその他2件、参加者64人との報告があった。今年は九州北部での大会開催を予定している旨、説明があった。

(6) 協賛等の依頼

中西総務理事より、合計21件の依頼について協賛等する旨報告があり、承認された。

(7) その他

(7-1) H29年定時社員総会資料作成に向けての予定

中西総務理事より、平成29年定時社員総会資料作成のため、支部長、委員長等に平成28年度事業報告、平成29年度事業計画、決算書類、予算への要望を3月上旬に提出依頼したい旨、また、4月上旬に決算書類、4月中旬に事業報告、事業計画の提出締め切りとしたい旨、説明があった。

(7-2) 今後の理事会日程について

中西総務理事より、第38回理事会を4月下旬から5月上旬に、第39回理事会を6月2日に開催する旨、説明があった。

(8) 閉会

以上の議事を終え、17時27分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

平成29年2月22日

代表理事

堀江良典[㊟]

監事

酒井一博[㊟]